

令和3年度事業報告書

I 概 要

放射線利用を振興するとともに、原子力の利用に係る知識及び技術の普及を推進するために、公益目的事業として研修事業を、収益事業として照射事業、技術推進事業及び技術移転事業を引き続き実施した。

日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）が有する JRR-3 については、令和3年7月から供用運転が開始され、トラブルもなく予定どおり4サイクルが運転された。令和3年度は大学共同利用が活発に行われた一方で、企業等のユーザーは未だ様子見の状況で、当協会の中性子ビーム実験サービスの利用は課題申請の支援にとどまった。

経営状況については、新型コロナウイルスの事業への影響は、令和3年度は研修事業の受講者数及び展示会への出展等宣伝活動ができなかった技術移転事業に見られたものの、その他の事業への大きな影響は見られなかった。

また、当初照射事業への影響が懸念された量子科学技術研究開発機構（以下「量研機構」という。）のガンマ線照射施設の耐震補強工事は、量研機構の工事工程調整及び量研機構と当協会の綿密な照射スケジュール調整により効率的に事業を進め、影響を最小限に抑えることができた。

その結果、令和3年度は3年ぶりの黒字となり、職員のモチベーション向上のため、給与削減の一部回復分として3月期期末手当を支給することができた。

Ⅱ 事業内容

1. 公益目的事業

○ 研修事業

研修事業の中核と位置付けている第三種放射線取扱主任者免状取得に必要な講習については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施回数を大幅に削減し、目標を130名から60名に変更した。

開催に当たっては、受講者に抗原検査キットを送付して検査を義務付け、また各種防護機材を用いて感染拡大防止に万全を期して実施し、年間で66名が受講した。

その他の研修としては、放射線従事者教育等を主としてリモートにより実施した。国際科学技術センター（ISTC）の支援テーマに対する課題評価については、予定どおり実施した。

2. 収益事業

(1) 照射事業

ガンマ線照射事業については、照射施設の耐震補強工事により照射施設の利用時間の確保が困難になることや、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより照射件数の減少が危惧されたが、照射スケジュール等について施設側と密接に連絡調整を行い、利用時間を確保できたこと、規制庁委託事業に係る早稲田大学からの業務請負や真珠の着色のための照射が好調に推移したこともあり、全体の収入は前年度の

実績を大幅に上回るものとなった。

(2) 技術推進事業

原子力機構及び量研機構の所有する研究炉利用設備及びガンマ線・電子線・イオンビーム照射施設・設備等の運転保守、並びにこれら設備の利用促進に係る支援を実施するとともに、大学の共同利用に係る管理業務を実施した。また、原子力機構において実施される各種分析に対して技術支援を行うとともに、原子力機構の種々の化学分析装置及び放射能分析装置の保守管理を実施した。

労働者派遣事業については、高度なスキルを有する4名を原子力機構及び量研機構に派遣した。

(3) 技術移転事業

J-PARCは順調に運転されたため、中性子ビーム実験サービス(2件)及び中性子利活用促進事業支援(2件)を実施した。また、再稼働したJRR-3を用いた外部利用に関しては、今年度中にビーム利用を行う支援事業は無かったが、来年度に実施を予定する課題の申請と実験準備を1件実施した。企業への大規模説明会、学会等での講演・ポスター発表、展示会への出展等は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、分析展(JASIS2021)のみの参加にとどめた。

また、昨年度で終了した文部科学省からの受託事業に代わり、(一財)新技術振興渡辺記念会から助成を受けて新たな事業「再稼働したJRR-3

における中性子線の産業利用促進のための支援制度の調査研究」を開始した。実施期間は令和3年11月から1年間である。

3. その他関連業務

令和2年度に開催予定されていた第18回放射線プロセスシンポジウムは新型コロナウイルス感染拡大の影響で1年延期されて、令和3年11月16日～17日に開催され、事務局として開催を支援した。

4. 事業の推進にあたって

放射線管理区域内での作業を行う担当者への施設の安全運転・安全管理に関する教育を継続するとともに、全職員に対して顧客信頼度向上の観点からSDGsに関する教育を実施した。

Ⅲ 役員・理事会等

1. 役員（令和4年3月31日現在）

理事長	柴田誠一
専務理事	中村祐
理事	勝村庸介
理事	植竹明人
理事	吉澤英樹
理事	小澤隆
監事	玉澤武之
監事	川上和夫

2. 評議員（令和4年3月31日現在）

評議員	近藤健次郎
評議員	遠藤啓吾
評議員	上塚寛
評議員	妹尾与志木
評議員	横溝英明
評議員	畑澤順
評議員	荻野伸明
評議員	新井史朗

3. 理事会

第1回理事会

- 期 日 令和3年6月8日(火)
場 所 ZoomによるWeb会議
出席者 理事6名 監事2名
付議事項 (1) 令和2年度事業報告(案)について
(2) 令和2年度決算書(案)について
(3) 評議員会の開催について

第2回理事会

- 期 日 令和4年3月8日(火)
場 所 ZoomによるWeb会議
出席者 理事6名 監事2名
付議事項 (1) 令和4年度事業計画書(案)について
(2) 令和4年度収支予算書(案)について
(3) 監事の辞任及び選任について
(4) 理事及び監事の改選について
(5) 評議員会の開催について

4. 評議員会

第1回評議員会(定時評議員会)

- 期 日 令和3年6月24日(木)
場 所 ZoomによるWeb会議
出席者 評議員8名
付議事項 (1) 令和2年度事業報告(案)について
(2) 令和2年度決算書(案)について

第2回評議員会

- 期 日 令和4年3月25日(金)
場 所 ZoomによるWeb会議
出席者 評議員8名
付議事項 (1) 令和4年度事業計画書について
(2) 令和4年度収支予算書について
(3) 監事の辞任及び選任について
(4) 理事及び監事の改選について

5. 監 査

令和 3 年度事業報告書（案）及び決算書（案）について、令和 4 年 5 月 26 日に監事の監査を受け、承認を得た。

6. 職 員（令和 4 年 3 月 31 日現在）

事務局

事務局長 1

事務局 4

東海事業所

所長 1

中性子利用技術部 4

技術推進部 43

原子力研修部 6 高崎事業所長が部長を兼務

高崎事業所

所長 1

照射事業部 8 所長が部長を兼務

事務局（高崎駐在） 3

計 71 名